

目標達成計画

作成日: 5 年 5 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域のつきあい、地域ケア会議やほほたかふ以外での交流が乏しい。	地域交流の場へ出向き、事業所の認知度を上げ、施設内の情報発信に努める。	介護相談会の開催や、広報誌、ホームページでの情報発信など、事業所の日常を公開している。	3 ヶ月
2	13	○職員を育てる取り組み多様化を見せる介護ニーズに対応する為、スキルを身につけた介護職員の育成が必要。	事業所内研修の充実を図る。また、資格取得などのスキルアップにより、正規職員への転換を実施する。	研修委員会を設置し、年間を通して研修会の開催を予定している。キャリアが勤務状況や資金に反映されることにより、やりがいをもてケアに貢献できる。	12 ヶ月
3	18	○本人と共に過ごして支えあう関係、自支援という事が取れず、全てにおいてケアのサービス提供をしている。	身体を動かすことに限らず、利用者自身の「できること」を日常生活の中で支援していく。	利用者様の思いを反映させ、新サービスの提供に繋げる。その為「できること」「できないこと」を明確にし、職員間で情報共有とする。	3 ヶ月
4	41	○栄養摂取や水分確保の支援水分を取りたがらない利用者様への水分摂取支援が困難。	脱水症や低栄養状態への予防。利用者様が好む嗜好品の把握。	定期的な嗜好調査を実施することにより、普段の食事内容や水分についての満足度を把握した上で、個別対応への充実に図る。	3 ヶ月
5	49	○日常的な外出支援。コロナウイルスによる影響での面会制限や、人オ不足による近所まで行けなかった。	四季行事での外出計画や、ほほたかふへの参加、日常的な散歩の支援を実施。二府旗様との面会を兼ねた外出の支援。	年間行事にて外出支援への取組を実施。業務の見直しを行い、散歩へ付き添える時間を取る。在宅希望の二府旗様には外出の便しをしていく。	6 ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。